

 SKY Perfect JSAT Group
Company Profile

スカパーJSATグループミッション

Space for your Smile

不安が「安心」に変わる社会へ
不便が「快適」に変わる生活へ
好きが「大好き」に変わる人生へ

ブランドスローガン



地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
今日もこの空にうかぶ、人工衛星たちとともに。



「スカパーJSATグループプラン2020+」をさらに進化させながら、 企業価値の向上を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、依然として深刻な状況が続いておりますが、医療関係者をはじめ、感染拡大の抑止に尽力されている全ての方々に心から感謝申し上げます。

当社は、1989年に日本企業として初めて通信衛星を打ち上げて以来、30機以上の衛星を活用し、衛星通信や衛星放送を提供してきた宇宙ビジネスのパイオニア企業です。近年ではAIやセンシング技術の導入により、より裾野の広いビジネスインテリジェンス事業も創出しています。2020年度に策定した「スカパーJSATグループプラン2020+」を軸に当社の強みと新たなパートナーリングを生かした事業活動を行います。

REPOWERING (人) 場所・時間にとらわれない柔軟な働き方の実現、若手社員の抜擢などによる人財活性化に取り組んできました。働く環境や制度を柔軟に見直すとともに、グループミッション“Space for your Smile”の実現に向けて、従業員一人ひとりが自己を変革し、自らのパフォーマンスを最大限に発揮できる会社を目指していきます。

REBUILDING (事業) 宇宙事業では、航空機内Wi-Fi向けの回線提供をはじめとするグローバル市場需要への積極対応や、国内外で衛星利用が拡大している携帯

バックホール向けの回線提供も拡大していきます。また、ビジネスインテリジェンス分野における収益拡大にとどまらず、さまざまな用途の宇宙インフラをビジネスパートナーとも協力しながら構築していき、Beyond 5G・6G時代の宇宙統合コンピューティング・ネットワークによる新領域へ進出して新たな収益の実現も検討します。メディア事業においては、FTTHや5G・Beyond 5Gなどの多様な伝送手段による事業展開を推進するとともに、国内外の配信サービスを支援するB2B事業や「スカパー！オンデマンド」を発展させた新しい配信事業を立ち上げ、将来的には放送・配信を複合したプラットフォーム展開も図っていきます。

REBRANDING (会社) 2020年10月より「未知を、価値に。」を合言葉に、企業ブランディング活動を開始しています。地上から宇宙空間までの幅広いビジネスフィールドで当社が挑戦を続けていく姿を、広く世の中の皆様に知っていただくべく、継続的に活動を行っていきます。加えて、サステナビリティ経営をより一層推進し、コーポレート・ガバナンスの強化も併せて行うことで、ブランド価値を高めていきます。

今後とも、スカパーJSATグループへの変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 米倉 英一

衛星調達

カバーエリアでの需要予測と軌道位置の確保から始まり、衛星の仕様を検討、メーカーを選定し発注します。製造開始後は、工程管理・性能評価を実施。打ち上げサービスについても選定作業を行い、衛星の静止軌道への投入を行います。衛星一機の発注から打ち上げまでは約2～3年かかります。

衛星運用・回線運用

スカパーJSATの通信衛星は、衛星管制センターが地上からコントロールします。通信衛星の健康状態を確認するヘルスチェックのほか、軌道制御、姿勢制御、衛星回線の監視などを24時間体制で行います。主局の被災や機器故障時でも運用を継続できるよう、副局も設けています。



Our Business

スカパーJSATは、放送と通信を融合したサービスを提供する日本で唯一、アジア最大の衛星通信事業者です。加入件数約300万件を誇る「スカパー！」を通じ多種多様なエンターテインメントをお届けするとともに、日本・アジア・オセアニア・ロシア・中近東・ハワイ・北米をカバーする衛星で、「社会の安心・安全」を支えています。

メディア事業 スカパー！

メディアセンター運営

スカパー！で放送するコンテンツを、屋上に設置された10基のパラボラアンテナから衛星に向けて送信、24時間365日の監視運用でスカパーJSATの放送事業を支えています。スタジオなどの番組制作機能が備わった多彩なコンテンツの集積地という独自性を生かし、これらを動画配信にご活用いただくための法人のお客様向けメディアソリューション事業も展開していきます。

カスタマーセンター運営

加入、変更、ご質問やご要望など、お客様とのさまざまなコミュニケーションをマルチチャンネルで担っています。人による高い接客力とAIなど先端テクノロジーの融合で実現した「スマートコンタクトセンター」は、外部機関HDIの調査でも三つ星を獲得しました。さまざまな業種業界のお客様窓口のサポートも積極的に事業化していきます。

国内ビジネス領域

災害に強い衛星通信の特長を生かし、全国自治体や電力・ガスなどライフラインを担う企業に、災害対策・BCPに適したサービスを提供します。また、現場からの映像伝送や全国一斉配信など、さまざまな用途に利用されています。

グローバルビジネス領域

アジア・オセアニア・中近東・ロシアなどへの衛星回線提供や、インテルサット社とのHorizons共同事業を行っています。新規衛星打ち上げによるカバーエリア拡張、軌道上衛星の効率化や利活用でさらなる拡大を目指します。

移動体ビジネス領域

航空機・船舶向けの通信需要に対し、積極的にビジネスを展開しています。また、インマルサットグループなどとの共同出資によるJSAT MOBILE Communications(株)を通じ、さらなる拡大を目指します。

新規ビジネス領域

●低軌道衛星向け地上局サービス

低軌道衛星は、技術発展に伴う衛星の小型化や、廉価な衛星打ち上げサービスの拡大を背景に、革新的成長を遂げています。スカパーJSATは、アジア最大の衛星通信事業者として、また30機以上の静止衛星の管制・運用で培った技術力や経験をベースに、低軌道衛星ビジネスに取り組んでいます。

●情報サービス

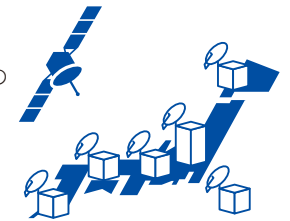
海・地上・空・宇宙からのデータ分析で得られた情報を提供し、さまざまなビジネスシーンでの意思決定をサポートします。お客様の新たな気づきを掘り起こし、当社インフラを利用した情報ソース活用を提案します。

衛星通信サービスの特長

MERIT ① 広域・同報性

主な利用分野

- スカパー！の番組伝送
- 地上波テレビ局、CATV局の番組伝送
- 遠隔地の監視・制御など



MERIT ② 柔軟性

主な利用分野

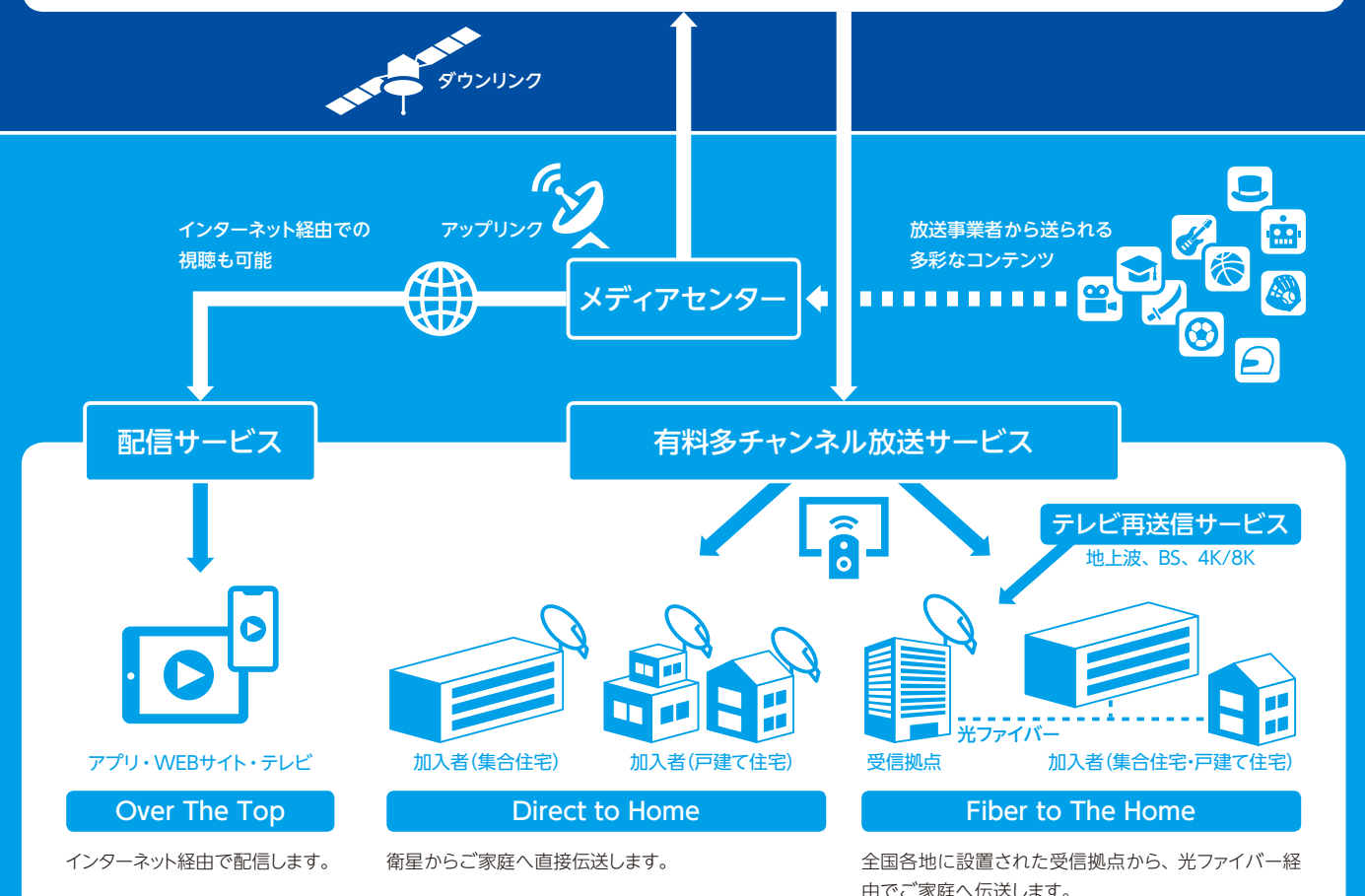
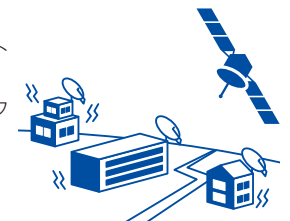
- 航空機・船舶など移動体における高速インターネット接続環境の提供
- 通信インフラ不足の国や地域での衛星電話や通信サービスの提供



MERIT ③ 耐災害性

主な利用分野

- 一般企業や自治体のネットワーク
- 電力・ガス・石油などのライフライン企業のネットワーク
- 重要拠点のバックアップ回線



- 主に宇宙事業に利用
- 主にメディア事業に利用

	JCSAT-110A	JCSAT-110R	JCSAT-4B	JCSAT-3A
軌道位置	東経110度	東経110度	東経124度	東経128度
打上日(日本時間)	2016/12/22	2011/8/7	2012/5/16	2006/8/12
打上ロケット	Ariane5	Ariane5	Ariane5	Ariane5
衛星バス	SSL1300	A2100A	A2100AX	A2100AX
周波数帯域	Ku band	Ku band	Ku band	Ku band C band
主なカバーエリア	● Ku: 日本、インド洋、オセアニア	● Ku: 日本	● Ku: 日本、東南アジア、2つの可動ビーム	● Ku: 日本、可動ビーム ● C: アジア、ハワイ、ロシア

JCSAT-5A	JCSAT-6	JCSAT-17	Superbird-C2	JCSAT-1C
東経132度	東経136度	東経136度	東経144度	東経150度
2006/4/13	1999/2/16	2020/2/19	2008/8/15	2019/12/17
Zenit-3SL	Atlas2AS	Ariane5ECA	Ariane5	Falcon9
A2100AX	Boeing 601	LM2100	DS2000	Boeing 702[HTS*]
Ku band C band S band	Ku band	S band C band Ku band	Ku band	Ku band Ka band
● Ku: 日本 ● C: アジア、ハワイ、ロシア	—	—	● Ku: 日本、アジア、可動ビーム	● Ku: アジア、太平洋、ロシア

お客様のニーズに合った軌道位置・衛星仕様を生かし、事業の拡大を図ります。

アジアで最多の通信衛星とインテルサット社とのパートナーシップにより、グローバルな衛星通信サービスを提供しています。

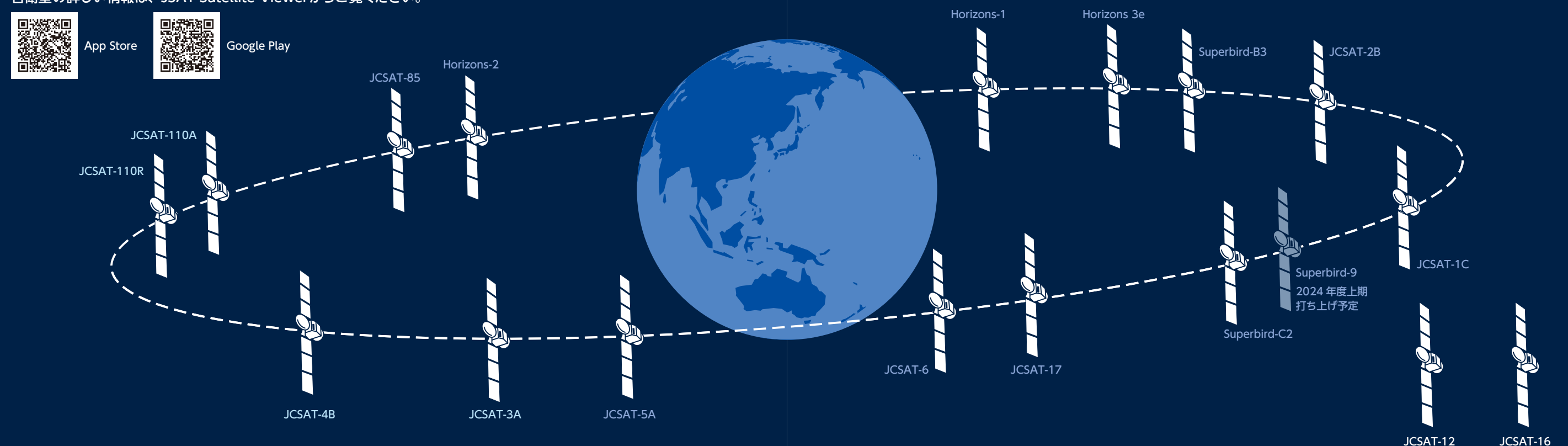
各衛星の詳しい情報は、JSAT Satellite Viewerからご覧ください。



App Store



Google Play



	JCSAT-2B	Superbird-B3	Horizons 3e	Horizons-1
軌道位置	東経154度	東経162度	東経169度	西経127度
打上日(日本時間)	2016/5/6	2018/4/6	2018/9/26	2003/10/1
打上ロケット	Falcon9	Ariane5	Ariane5	Zenit-3SL
衛星バス	SSL1300	DS2000	Boeing 702MP[HTS*]	Boeing 601HP
周波数帯域	Ku band C band	Ku band Ka band	Ku band C band	Ku band
主なカバーエリア	● Ku: 日本、アジア、太平洋 ● C: ロシア、アジア、オセアニア、グローバル	● Ku: 日本、可動ビーム	● Ku: アジア、オセアニア、太平洋 ● C: 日本、オセアニア、ハワイ、アラスカ	● Ku: 北米、ハワイ

Horizons-2	JCSAT-85	JCSAT-12	JCSAT-16
東経85度	東経85度	—	—
2007/12/22	2009/12/1	2009/8/22	2016/8/14
Ariane5	Zenit-3SLB	Ariane5	Falcon9
STAR-2	STAR-2	A2100AX	SSL1300
Ku band	Ku band	Ku band C band	Ku band Ka band
● Ku: ロシア	● Ku: 日本、アジア、インド洋、中東	—	—

2021年6月30日現在

※HTS: ハイスループット衛星。従来型衛星に比べ伝送容量を大幅に拡張した衛星のこと



宇宙から海洋まであらゆる空間をビジネスフィールドとし、
災害時のバックアップ回線や、
航空機・船舶向けインターネット回線など
さまざまな衛星通信サービスを提供しています。



こちらから詳しい情報をご覧ください

スカパーJSATが展開する宇宙事業は、
皆様のビジネスや毎日の生活をより便利に、より豊かにするサポートをしています。
さまざまな場面で活躍している当社サービスをご紹介します。

VSAT (超小型地球局) サービス



防災プラットフォームサービス
EsBird

防災プラットフォームサービス

利用用途

- インフラ企業内拠点間(本店・発電所・運航管理室など)の重要通信回線バックアップ
- ガスパイプラインの流量監視・制御 など



衛星IPネットワークサービス
ExBird

衛星IPネットワークサービス

利用用途

- 企業内拠点間の通信回線バックアップ
- 災害医療のBCP対策
- 山間・僻地でのクラウドアクセス (インターネット利用) など



ネットと使える! IP映像伝送サービス
Sat-Q

IP映像伝送サービス

利用用途

- 報道取材現場からのリアルタイム映像伝送
- 報道取材現場のホットスポット化
- 地上携帯網の伝送路補完 など

配信サービス



衛星マルチキャスト配信サービス
SkyAccess

衛星マルチキャスト配信サービス

利用用途

- 遠隔教育
- 社内放送・講義映像配信
- イベント・ライブ中継 など



緊急地震速報衛星配信サービス
SafetyBird

緊急地震速報衛星配信サービス

利用用途

- 工場・プラントの自動制御、館内放送による早期避難
- ビル管理・エレベーター・病院 など

情報サービス



Spatio-iD

情報サービス「Spatio-iD」(スペインシオアイ)

利用用途

- 船舶検知
- 河川堤防、空港、港湾施設などのインフラ変位モニタリング
- サプライチェーン可視化
- 災害状況把握 など

移動体通信サービス



海洋ブロードバンドサービス
OceanBBplus

海洋ブロードバンドサービス

利用用途

- 船陸間の業務利用
- 客船のお客様による回線利用 など



航空機向けサービス

利用用途

- 航空機内でのWi-Fi回線利用 など

低軌道衛星向け地上局サービス



利用用途

- コマンド送信
- テレメトリデータ受信
- ミッションデータ受信 など

衛星回線サービス

利用用途

- 国内・海外向け衛星通信サービス
- 衛星放送専用サービス(スカパー!など)



多チャンネルプラットフォームのパイオニアとしてサービスをスタートしてから25年。
衛星、光ファイバー、インターネットの多様な伝送路からお届けする
「スカパー！」サービスは300万件を超えるお客様にお楽しみいただいています。
これからも、新たな生活スタイル、多様な嗜好や価値観に呼応した
それぞれのお客様に寄り添ったサービスを提供していきます。



こちらから詳しい情報をご覧ください

スカパーJSATが提供している「スカパー！」は、ひとりでも多くの方々にお楽しみいただくために、
顧客ニーズ・事業環境の変化に対応し、新たな事業領域を開拓しています。

ファン・マーケティング

コンテンツをお届けするだけでなく、イベント開催、グッズ販売、SNSを活用したコミュニケーションなど、ファンに寄り添った新たな体験を提供し、お客様との長期的な関係構築を目指していきます。
ドイツのブンデスリーガとの間では、24/25シーズンまでの放送権・配信権に加え、共同マーケティングも含めた強固なパートナーシップ契約を締結しています。ブンデスリーガのクラブを日本に招聘したプレシーズンマッチの開催など、ブンデスリーガの魅力を十分に生かしたファン・マーケティングを展開していく予定です。



写真：アフロ

お客様に向き合う
「ファン・マーケティング」の推進で放送以外の
サービスも提供し選ばれる存在に

放送事業 スカパー！

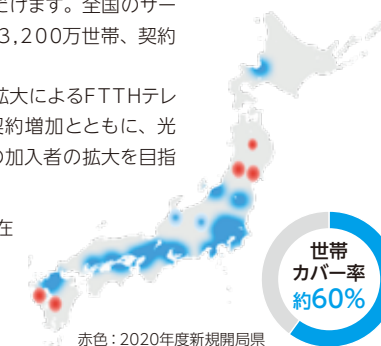
FTTH事業

光回線を経由した
テレビ再送信サービス接続世帯の拡大と
サービスの拡充

光回線(FTTH)再送信サービスの拡充

スカパー！は、FTTHを経由した地デジ・BS再送信サービスも提供しています。本サービスでは、地デジ・BSならびにスカパー！に対応し、アンテナなしでもNHKのBS8Kチャンネルを含む新4K8K衛星放送の全チャンネルがご覧いただけます。全国のサービス提供可能世帯は約3,200万世帯、契約数は244万世帯です*。
今後もサービスエリア拡大によるFTTHテレビ再送信サービスの契約増加とともに、光回線経由のスカパー！の加入者の拡大を目指します。

※ 2021年3月31日現在



「観る」は、チカラだ。

プロ野球は、1軍戦だけでなく、ファーム全12球団配信も実現し、今シーズンも多くファンにご満足いただいています。プロ野球セットアップでは、バックグラウンド再生やチャンス通知など新たな機能も充実し、スカパー！で観るプロ野球はますます充実。
また、コロナ禍での熱量低下が懸念される今、「ファンがプロ野球に興味関心を持ち続け」、さらに「ニューノーマル時代に相応しいプロ野球との新しいつながり方」を提案する「Yell for BASEBALL FAN Project」を発足。これからもスカパー！は、プロ野球とファンをつなぐ熱い活動を継続します。



「スカパー！オンデマンド」の
リニューアルにより競争力を強化
放送と配信が融合したプラットフォームへ

配信事業

B2B事業

多様な配信需要に応え
放送用設備・技術をさまざまな用途の
新規ユーザーに提供

メディアHUBクラウド

OTTサービス向け素材の集積地“HUB”としての役割を実現し、コンテンツプロバイダ、OTTサービス事業者双方に対して、短期間かつ低コストで高い信頼性の配信手段を提供する取り組みを開始しました。一般企業の研修などさまざまなビジネスシーンで、動画配信をより手軽に、効率的に行っていただけるよう、映像配信のHUB機能として当社の放送設備・技術を活用していきます。
当社が得意としている数多くの映像ソースを必要に応じて分岐する技術や、当社に流通するコンテンツ映像を放送だけでなくインターネットでも配信できる強みを生かし、新たな収益源を開拓していきます。



サステナビリティ経営の実現を目指して

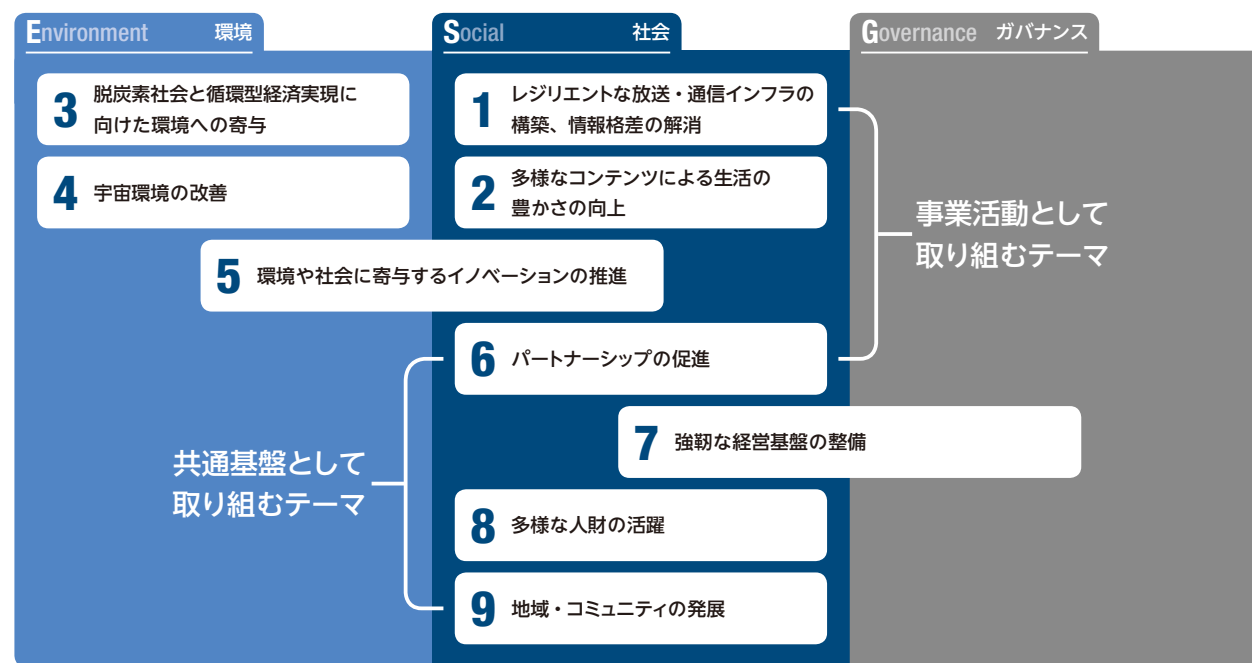
事業を通じて取り組むべき9つの重要課題テーマを特定しました。

社会から必要とされ、持続的な成長を続けるサステナビリティ経営の実現を目指しています。

2021年4月、私たちは宇宙事業、メディア事業のそれぞれの特性を踏まえ、

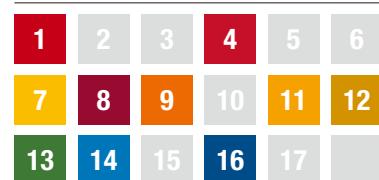
事業を通じて取り組むべき9つの重要課題テーマを特定しました。

テーマごとにSDGs(持続可能な開発目標)の17の目標を紐づけ具体的な目標・KPIを定め、組織での実践と経営への統合を進めていきます。



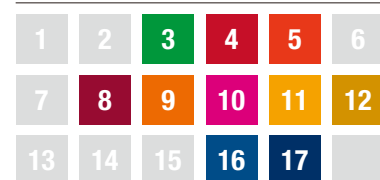
スカパーJSATの9つの重要課題(マテリアリティ)テーマ

1 レジリエントな放送・通信インフラの構築、情報格差の解消



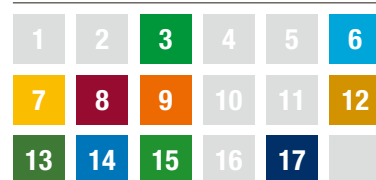
国内外を問わず、地上回線が未整備の地域の情報格差をなくし、レジリエントな社会を構築しています。インフラ系企業のBCP※1利用や、災害発生時の救援、医療、復旧支援にも活用されます。衛星放送や光回線経由の再送信サービスでも、安定した生活インフラ(放送・通信)を提供しています。

2 多様なコンテンツによる生活の豊かさの向上



幅広いジャンルの放送コンテンツをさまざまなデバイスで提供し、多様化する視聴ニーズに応え、生活を豊かにしています。安心してお楽しみいただくための取り組みとして、番組審査や視聴年齢制限を行っています。多様なコンテンツ流通のためのハブ機能の構築にも取り組んでいます。

3 脱炭素社会と循環型経済実現に向けた環境への寄与



太陽光エネルギーで稼働する衛星通信・衛星放送の利用拡大による地上のエネルギー効率の向上を目指すほか、自社利用およびパートナーへのソリューション提供を通じた再生可能エネルギーの利用拡大や環境に配慮した調達、3R※2の推進により脱炭素社会と循環型経済の実現に寄与します。

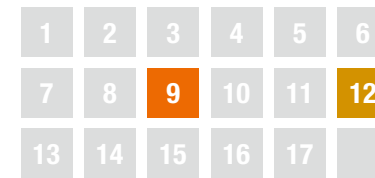
※1 BCP: 事業継続計画

※2 3R: Reduce, Reuse, Recycle

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4 宇宙環境の改善



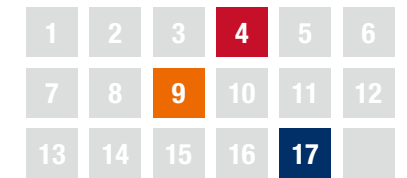
宇宙をビジネスフィールドとする企業としての責任を果たすべく、パートナーとの協働により、レーザーを使用した宇宙ごみ除去衛星の設計・開発に取り組んでいます。

5 環境や社会に寄与するイノベーションの推進



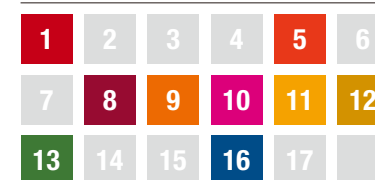
衛星画像データとその他のデータソースを組み合わせて災害状況や建設構造物や水位などの環境変位状況などをモニタリングし、防災・減災、環境保全などに活用しています。また、日本初の衛星デジタル多チャンネルサービスの実現や放送の高度化に取り組んできた実績をもとに、放送のさらなる高度化やアクセシビリティの向上など放送・配信の価値向上に取り組めます。

6 パートナーシップの促進



パートナー企業との人材交流(出向差出、受入など)や合同研修など、協業・プロジェクト・イニシアチブへの参画などを積極的に行い、新領域への進出を加速します。

7 強靱な経営基盤の整備



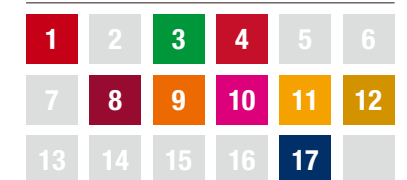
公共性の高い事業を営む企業としてコーポレート・ガバナンスの向上による経営の透明性の確保と、コンプライアンス・リスクマネジメント・個人情報保護・情報セキュリティマネジメントなど事業を支える経営基盤の強化を図ります。また、サステナビリティに関する定期的な報告、情報開示によりステークホルダーからの信頼を確保します。

8 多様な人財の活躍



女性活躍推進・高齢者雇用・障がい者雇用・グローバル人材の育成など、人財の多様性を確保すると同時に、ロケーションにとらわれないリモートワークの環境整備や介護・育児関連などの勤務制度の充実を図るなど、働き方の多様性も整備してまいります。また、さまざまな研修機会の提供や教育研修資格補助制度などによりキャリア形成を支援します。

9 地域・コミュニティの発展



自社リソースの活用やNGOへの協賛を通じた東南アジアの教育支援、児童・学生の社会科見学受入など次世代教育を支援しています。また自社施設の地域防災拠点としての活用検討など、地域コミュニティの発展への寄与も目指します。番組・CM・放送枠などの当社の特徴を生かした社会貢献も検討を進めます。

スカパーJSATグループのあゆみ

平成元年(1989年)3月に日本初の民間通信衛星JCSAT-1、
6月にはSuperbird-Aが打ち上げられ、「平成元年」は「衛星元年」になりました。
1996年には通信衛星を利用した日本初のCSデジタル放送「パーフェクTV!」の放送を開始しました。
そして2008年、(株)スカパーフェクト・コミュニケーションズ、ジェイサット(株)、宇宙通信(株)が合併し、
スカパーJSAT(株)が誕生しました。2018年に策定されたグループミッション「Space for your Smile」のもと、
新しい事業領域の開拓に挑戦していきます。

1985

- 市場ゼロからの壮大なチャレンジ。
日本初の民間の衛星通信事業の
立ち上げ



宇宙事業

1989

- 日本初の民間通信衛星
「JCSAT-1」の打ち上げ



1995

- 日本初の衛星デジタル
多チャンネル放送用通信衛星
「JCSAT-3」の打ち上げ

2003

- PanAmSat Corporation
(現Intelsat S.A.)との共同衛星
「Horizons-1」を北米上空に
打ち上げ。米国でサービス開始

2010

- 海洋ブロードバンドサービス
「OceanBB」提供開始

2016

- 航空機向けWi-Fi回線提供開始
- KSAT社と戦略的業務提携
- SNET、Planet社の高頻度
衛星画像サービスの提供を開始

2017

- Kymeta社と戦略的業務提携
- Orbital Insight社と代理店契約
締結
- 低軌道衛星向け地上局サービス
開始

2018

- 当社初のHigh Throughput
Satellite (HTS) 衛星
「Horizons 3e」を打ち上げ
- 雲観測AI KMOMY(くもみ)の
開発によるスマホアプリ
「くもろぐ」誕生



2019

- 光データ中継事業の共同展開に
向けてエアバス社と覚書を締結
- チャレナジー社と出資契約締結
- パスコ社と宇宙事業における
業務提携
- JAXAより小型実証衛星4型
「SDS-4」を譲受

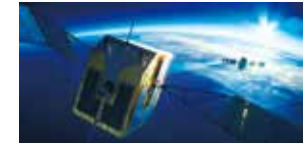


© JAXA

- 情報サービス「Spatio-i」始動
- HTS衛星2機目となる
「JCSAT-1C」を打ち上げ

2020

- 宇宙ごみ除去システム衛星の
設計・開発に着手



- ゼンリン・日本工営と
「衛星防災情報サービス」提供に
向けて業務提携



- 電力中央研究所と
「ハイブリッド型太陽光発電出力
予測システム」共同開発に合意

2021

- 衛星データサービス企画(株)設立
- NTTと新たな宇宙事業の
ための業務提携契約を締結



1985

宇宙通信(株)設立
日本通信衛星(株)設立
(株)サテライトジャパン設立

1993

日本通信衛星(株)、(株)サテライトジャパン 合併
(株)日本サテライトシステムズ設立

2000

社名をジェイサット(株)に変更

1994

(株)ディーエムシー企画設立
1995年、事業会社化し
日本デジタル放送サービス(株)に

1996

ジェイ・スカイ・ビー(株)設立

2000

社名を(株)スカパーフェクト・
コミュニケーションズに変更

2007

経営統合
持株会社である、スカパーJSAT(株)*設立
同日、東証1部新規上場(4月2日)

2008

アジア最大の衛星通信会社スカパーJSATの誕生
(株)スカパーフェクト・コミュニケーションズとジェイサット(株)と
宇宙通信(株)が合併し、スカパーJSAT(株)が発足(10月1日)

※2008年、(株)スカパーJSATホールディングスに社名変更

メディア事業



1992

- 日本初の受託衛星放送サービス
(CSアナログ放送)の開始

1996

- 日本初のCSデジタル放送
「パーフェクTV!」本放送開始



1998

- セリエAの放送権を獲得

2002

- 「スカパー!フェクTV!」の
加入者が300万件を突破
- 110度CSデジタル放送サービス
「スカパー!フェクTV!2」
本放送開始
- 日韓共催
「2002FIFAワールドカップ™」
の全64試合を10チャンネルで
放送

2004

- 「スカパー!対応
光ファイバーTV OPCAS」
(現スカパー!プレミアム
サービス光)サービス開始

2006

- Jリーグ(J1/J2)CS独占放送権
取得

2008

- 「スカパー!HD」サービス開始

2011

- 新BSデジタル放送
「BSスカパー!」開局
- 「スカパー!オンデマンド」
サービスの提供を開始

スカパー!
on demand

2014

- 現地語による
24時間放送チャンネル
「WAKUWAKU JAPAN」
インドネシアで開局

WakuWaku
JAPAN

2017

- スカパー!ハイブリッドの提供を
開始

2018

- 新4K8K衛星放送の開始。
スカパー!に9つの4Kチャンネル
誕生。光回線でも視聴可能に
- スカパー!基本プランスタート。
1台分の料金でテレビ3台まで
追加料金なし

スカパー!
基本
プラン

2019

- JAXA・バスキュール・
スカパーJSAT、「宇宙メディア
事業」に向けた共創を始動



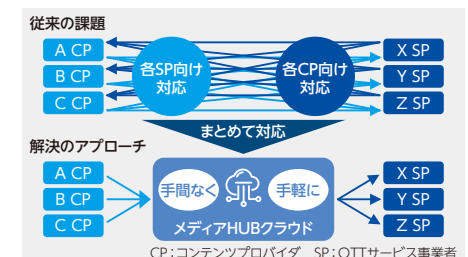
提供:バスキュール/スカパーJSAT/JAXA

2020

- eスポーツ分野に注力した
新会社を共同出資で設立
- ブンデスリーガ独占放送権・
配信権獲得に加え、
パートナーシップ契約を締結

ブンデスリーガ
OFFICIAL BROADCASTER
スカパー!

- (株)PLAYと提携し
OTTサービス向け素材の集積地
“HUB”を目指す



スカパー!加入件数

約 **310** 万件

2020年度連結営業収益

1,396 億円

2021年度連結業績予想

連結営業収益
1,220 億円

親会社株主に帰属する当期純利益
130 億円

衛星保有数

18 機

従業員データ

(スカパーJSAT株式会社単体)

正社員数
668 名

勤続年数
16.6 年

産休・育休後の復職率
100 %

障がい者雇用率
2.7 %

女性管理職比率
10.2 %

年休取得率
46.7 %

会社概要

持株会社



株式会社スカパーJSATホールディングス

- 住所 〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目8番1号
- 電話番号 03-5571-1500(代表)
- 設立 2007年4月2日
- 資本金 10,081百万円

代表取締役社長	米倉 英一
代表取締役	福岡 徹
取締役	小川 正人
取締役	松谷 浩一
取締役(非常勤)	中谷 巖
取締役(非常勤)	小杉 善信
取締役(非常勤)	藤原 洋
取締役(非常勤)	大賀 公子
取締役(非常勤)	清水 賢治
監査役	小川 晃
監査役	大江 淳彦
監査役(非常勤)	高橋 勉
監査役(非常勤)	大友 淳

事業会社



スカパーJSAT株式会社

- 住所 〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目8番1号
- 電話番号 03-5571-7800(代表)
- 設立 1994年11月10日
- 資本金 50,083百万円
- 拠点
 - スカパー東京メディアセンター(東京都江東区)
 - 横浜衛星管制センター(神奈川県横浜市)
 - 茨城ネットワーク管制センター(茨城県常陸大宮市)
 - 山口ネットワーク管制センター(山口県山口市)
 - スカパーJSAT豊洲センター(東京都江東区)
 - 群馬テレポートセンター(群馬県北群馬郡)
 - 北海道ネットワーク管制センター(北海道千歳市)
 - 沖縄ネットワーク管制センター(沖縄県糸満市)
 - シンガポール支店
 - 香港支店
 - ジャカルタ駐在事務所

代表取締役 執行役員社長	米倉 英一
代表取締役 執行役員副社長	福岡 徹
取締役 執行役員専務	小川 正人
取締役 執行役員常務	松谷 浩一
監査役	小川 晃
監査役	大江 淳彦

主なグループ会社

■ 宇宙事業 ■ メディア事業

株式会社スカパーJSATホールディングス

■ スカパーJSAT株式会社	■ 株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ
■ 株式会社スカパー・ブロードキャスティング	■ JSAT MOBILE Communications株式会社
■ 株式会社スカパー・エンターテイメント	■ JSAT International Inc.

